

虎の門病院が進めるAI画像解析技術を活かした 先進的脳ドックプロジェクトにエルピクセルと参画

株式会社CogSmart（本社：東京都千代田区、代表取締役：樋口 彰[※1]、瀧 靖之[※2]）は、東北大学加齢医学研究所による脳医学の研究成果をもとに、AIによる認知機能低下リスク分析と対策アドバイスを可能にした認知症リスク検査サービス「BrainSuite®（ブレインスイート）」を展開しています。

この度、国家公務員共済組合連合会 虎の門病院（所在地：東京都港区、院長：門脇 孝）が進めるAI画像解析技術を活かした先進的脳ドックプロジェクトに、AI画像診断支援技術「EIRL(エイル)」シリーズを展開するエルピクセル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：鎌田 富久）とともに参画することをお知らせします。

脳と身体はつながっています。脳MRI画像には、運動や食生活などの生活習慣や血圧管理が脳に対して及ぼす影響、物忘れやふらつきといった症状がある際の専門医への受診判断に貢献する情報などが詰まっていますが、これまで十分に活用されているとは言えませんでした。AI画像解析技術を利用して、関連する情報を定量的にとらえるとともに、脳と身体の関連を多角的に評価し、分かりやすくお伝えできるならば、よりよい生活習慣の改善や血圧管理、早期の専門医への受診に結びつく可能性があります。

虎の門病院ではこの点に着目し、このたびAI画像解析を利用した受診者参加型の先進的脳ドックプロジェクトを立ち上げることにしました。これにあたり、当社は「BrainSuite」による海馬体積等の自動計測にて協力します。またエルピクセル社は、白質等の評価における医師によるばらつきをなくすべく、「EIRL Brain Metry」[※3]を用い、MRI画像から白質高信号領域等の自動計測とスコア化に協力します。

【CogSmart 代表取締役社長・樋口 彰コメント】

CogSmartは「脳医学とテクノロジーの力で、誰もが健やかに、そして心豊かに暮らせる社会をつくる」をパーパスとして、「BrainSuite」サービスの普及を進めて参りました。本プロジェクトではエルピクセル社と連携して、虎の門病院の先進的な取り組みに参画できることを大変光栄に思います。受診者目線で脳画像の解析評価を行い、生活習慣改善などの行動変容に繋げることで、より多くの方々が脳と身体の健康を保つことができるよう、尽力致します。

【エルピクセル 取締役ファウンダー・島原 佑基様コメント】

エルピクセルは「医療AIとともに、安心と革新を」をコンセプトに、強みである生物・医用画像解析技術を活用したAI画像診断支援技術「EIRL(エイル)」の開発を進めてきました。この提携によりAIの普及がさらに加速し、より多くの医療機関様、患者様に、安心と革新を提供できるように努めてまいります。

[※1] 日本法弁護士・英国法弁護士 (Solicitor in England and Wales) / 東北大学加齢医学研究所 分野研究員

[※2] 東北大学加齢医学研究所 教授 医師・医学博士 / 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター 副センター長

[※3] 販売名 医用画像解析ソフトウェア EIRL Brain Metry 認証番号 230AGBZX00107Z00

■本件の問い合わせ先

・株式会社CogSmart (コグスマート)

広報窓口 川村 (ベンチャー広報内)

TEL: 03-6869-8003 携帯 : 080-4941-6771

E-Mail : kawamura@v-pr.net

・国家公務員共済組合連合会 虎の門病院

広報企画室 関口高弘

TEL: 03-3588-1111

E-Mail : koho-kikaku@toranomom.gr.jp

・エルピクセル株式会社

広報担当

TEL : 03-6259-1713

E-Mail : pr@lpixel.net

■「BrainSuite®」とは

脳は変えられる。



BrainSuite

「BrainSuite®」は、脳MRI画像のAI解析技術等を利用することで海馬の体積や萎縮程度を測定・評価し、同性・同世代と比較した脳の健康状態を可視化します。受検者にはBrainSuite®専用会員ページ「MyPage」が用意され、脳の健康維持・改善方法についてアドバイスを提供します。30代から70代の幅広い年齢層を対象に、「生涯健康脳」の実現を最新の脳医学の観点からサポートする認知症リスク検査サービスです。

URL : <https://www.brainsuite.jp/>

■認知症リスク要因への早期対策

認知症で最も多いアルツハイマー型認知症は、遺伝的素因のみならず、食事、運動、睡眠、ストレスなどの生活習慣要因が重なって発症する、いわば「生活習慣病」であることが判っています。最新の研究では、認知症のリスク要因のうち、個人の生活習慣等の改善で減らすことができる要因は、全体の約40%を占めると言われています[※4]。

アルツハイマー型認知症は、顕著な脳萎縮を特徴としており、脳の中でも海馬の萎縮は、早い人で、30代から始まります。生活習慣によっては、加齢による海馬の萎縮以上に萎縮が加速度的に進行します。効果的な認知症リスク要因への早期対策を行うには、30代や40代といった早期段階から生活習慣の改善をスタートすることが非常に大切です。

[※4] Lancet. 2020 Aug8;396(10248):413-446

<40代女性の海馬解析画像（例）>



■「脳の健康3分チェック」

下記のURLにアクセスすると脳の健康度を示す認知機能を測る簡易テストが受けられます。

URL : <https://braintest.brainsuite.jp/welcome>

■株式会社CogSmart（コグスマート） 会社概要

設立：2019年10月

代表者：代表取締役 社長 樋口 彰、代表取締役 最高科学責任者 瀧 靖之

本社：東京都千代田区平河町1-6-4